

● 学校法人α Version 6.105

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 登録・入力

➤ 仕訳入力

① 通常入力「Ins定型仕訳」／伝票入力「F7定型伝票」

・令和1年10月1日をまたぐ決算期間のマスターで、「日付で税率の自動判定を行う」のチェックボックスを表示するようにしました。

チェックON：消費税を8%（旧税率）または10%で登録している定型仕訳を、令和1年9月30日までは8%で転記、令和1年10月1日以降は10%で転記します。

チェックOFF：消費税を8%（旧税率）、10%で登録している定型仕訳を日付に関係なく登録している税率で転記します。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**学校法人db（VERSION:6.105）の変更点**”を参照してください。

# 学校法人 d b (VERSION:6.105) の変更点

## 改良・修正

### I. 登録・入力

#### 1) 仕訳入力

①通常入力「Ins 定型仕訳」／伝票入力「F7 定型伝票」

・**令和 1 年 10 月 1 日をまたぐ決算期間のマスター**で、「日付で税率の自動判定を行う」のチェックボックスを表示するようにしました。

通常入力【Ins 定型仕訳】

番号	科目	借方	貸方	金額	税額	消費税	摘要
1	現	金	授				業
2	現	金	入				学
3	現	金	実				験
4	現	金	施				設
5	現	金	教				材
6	現	金	入				学
7	現	金	試				験
8	現	金	証				明

伝票入力【F7 定型伝票】

登録済み定型伝票[振替伝票]

新規登録[F7] 上書登録[F8] 削除[Del] 名称変更[F9] 内容確認[F11]

金額も定型伝票に追加する。

1.8%経過仕訳  
2.10%仕訳

振替伝票に入力[F12]  日付で税率の自動判定を行う 終了[End]

チェック ON : 消費税を 8% (旧税率) または 10% で登録している定型仕訳を、令和 1 年 9 月 30 日までは 8% で転記、令和 1 年 10 月 1 日以降は 10% で転記します。

チェック OFF : 消費税を 8% (旧税率)、10% で登録している定型仕訳を日付に関係なく登録している税率で転記します。

※初期値はチェック ON です。(ユーザー単位で保存します。)

※8%軽減・5%・3%を選択している定型仕訳は、「日付で税率の自動判定を行う」の対象外です。

※定型仕訳登録内に 8% 又は 10% で登録されている仕訳を転記した際に、マスターの期間によって下記のような扱いになります。

例)

平成 31 年 1 月 1 日～令和 1 年 12 月 31 日

8% 又は 10% の定型仕訳を転記

「日付で税率の自動判定を行う」が ON

令和 1 年 9 月 30 日までは、10% も 8% で転記します。

令和 1 年 10 月 1 日以降は、8% も 10% で転記します。

「日付で税率の自動判定を行う」が OFF

日付に関係なく、登録されている税率を転記します。

令和2年1月1日～令和2年12月31日

8%又は10%の定型仕訳を転記

8%は8%で転記します。

10%は10%で転記します。

※「日付で税率の自動判定を行う」は表示しません。

## 2) 定型仕訳登録

### ①HOME一括変更

- ・「定型仕訳」「定型伝票」の税率を一括変更する機能〔HOME一括変更〕を追加しました。消費税10%対応前で作成されていた〔定型仕訳〕〔定型伝票〕は8%で登録されていますが、令和1年10月消費税改正バージョンアップを行っても自動的に変更されません。また、翌期更新で、令和1年10月以後終了の事業期間に更新しても同様に変更されません。〔HOME一括変更〕で、8%を10%に一括して変更を行えます。

※定型仕訳タブと定型伝票タブ毎に一括変更を行います。

「定型伝票」タブは、仕訳入力：伝票入力の〔F7 定型伝票〕で登録した定型伝票がある場合に表示します。

※非営利系（公益法人、学校法人、宗教法人、社会福祉法人）は特定収入の定型仕訳の税率も変更します。

The screenshot shows the 'HOME一括変更' (Home Batch Change) screen. At the top, there are function keys: F4 (出力), F5 (印刷), F6 (削除), F7 (上移動), F8 (下移動), F9 (挿入), F11 (他社コピー), F12 (全削除), F13 (Home一括変更), and End (処理終了). The main window title is '仕訳グループの編集' (Edit Transaction Group) with '登録数: グループ数 8 / 200' and '当該仕訳数 8'. The '税率一括変更' (Batch Change Tax Rate) tab is active. Below the tab, there are two sub-tabs: '定型仕訳' (Standard Transaction) and '定型伝票' (Standard Invoice). A table lists transaction types with checkboxes for selection:

番号	名称	選択
1	収入 (納付金・手数料)	<input checked="" type="checkbox"/>
2	収入 (寄附金・補助金)	<input checked="" type="checkbox"/>
3	収入 (その他)	<input checked="" type="checkbox"/>
4	支出 (人件費)	<input checked="" type="checkbox"/>
5	支出 (教育研究経費)	<input checked="" type="checkbox"/>
6	支出 (管理経費)	<input checked="" type="checkbox"/>
7	固定資産 (取得)	<input checked="" type="checkbox"/>
8	固定資産 (売却・除却)	<input checked="" type="checkbox"/>

Below the table is a '全選択/全解除' (Select All/Unselect All) button. To the right, there are input fields for '借方' (Debit) and '貸方' (Credit), both with 'NOT' and '~' buttons. At the bottom, there is a '税率変更' (Change Tax Rate) section with a dropdown menu showing '8%' and another dropdown menu showing '10%', with an arrow between them. A warning message is displayed in a box: '特定収入の税率も変更しますのでご注意ください。' (Please be careful as the tax rate for specific income will also be changed.)

## [定型仕訳]

税率一括変更

定型仕訳 定型仕訳

番号	名 称	選択
1	収入（納付金・手数料）	<input checked="" type="checkbox"/>
2	収入（寄附金・補助金）	<input type="checkbox"/>
3	収入（その他）	<input type="checkbox"/>
4	支出（人件費）	<input type="checkbox"/>
5	支出（教育研究経費）	<input type="checkbox"/>
6	支出（管理経費）	<input type="checkbox"/>
7	固定資産（取得）	<input type="checkbox"/>
8	固定資産（売却・除却）	<input type="checkbox"/>

全選択/全解除

税率変更

8% ⇒ 10%

特定収入の税率も変更しますのでご注意ください。

対象となる定型仕訳

借 方：  
NOT [ ] ~ [ ]

貸 方：  
NOT [ ] ~ [ ]

変更開始 終了

1. 税率を変更するグループを選択します。全選択/全解除で一括選択が可能です。  
対象となる定型仕訳：任意で借方・貸方科目の範囲指定が可能です。
2. 税率変更で、変更前の税率と変更後の税率を選択します。
3. 設定後、変更開始を選択します。

変更仕訳の確認

定型仕訳グループ： 収入（納付金・手数料）

変更前の仕訳

番号	借 方	貸 方	金 額	税 額	消費税
5	現 金	教 材 費		0円9	

変更後の仕訳

番号	借 方	貸 方	金 額	税 額	消費税
5	現 金	教 材 費		0円10	

一括変更[F6] 変更する[F12] 変更しない[F8] 終了[End]

※特定収入の定型仕訳の税率も変更します。

変更仕訳の確認

定型仕訳グループ： 収入（寄附金・補助金）

変更前の仕訳

番号	借 方	貸 方	金 額	税 額	消費税
4	現 金	国 庫 補 助 金		0円不課/特9	

変更後の仕訳

番号	借 方	貸 方	金 額	税 額	消費税
4	現 金	国 庫 補 助 金		0円不課/特10	

一括変更[F6] 変更する[F12] 変更しない[F8] 終了[End]

4. 「一括変更」又は仕訳ごとに「変更する」「変更しない」を選択します。
  - 「一括変更 [F6] 」 該当仕訳の税率と税額を一括で変更します。
  - 「変更する [F12] 」 表示している仕訳を変更し次仕訳に進みます。
  - 「変更しない [F8] 」 表示している仕訳を変更しないで次仕訳に進みます。
  - 「終了 [End] 」 変更処理を終了します。

### 【定型伝票】

税率一括変更

番号	名称	選択
1	補助金収入	☑
2	入金伝票	☑

内容確認 全選択/全解除

税率変更  
 8% ⇒ 10%

特定収入の税率も変更しますのでご注意ください。

変更開始 終了

1. 税率を変更する伝票を選択します。[全選択/全解除]で一括選択が可能です。  
[内容確認]で、伝票の内容を確認することができます。  
対象となる定型仕訳：任意で借方/出金・貸方/入金科目の範囲指定が可能です。
2. 税率変更で、変更前の税率と変更後の税率を選択します。
3. 設定後、変更開始を選択します。

補助金収入

振替伝票

金額	消費税	借方	摘要	貸方	消費税	金額	税額
3,000,000		現金		補助活動収入	内10	3,000,000	272,727
3,000,000		借方合計	最大100行(1伝票)	貸方合計		3,000,000	

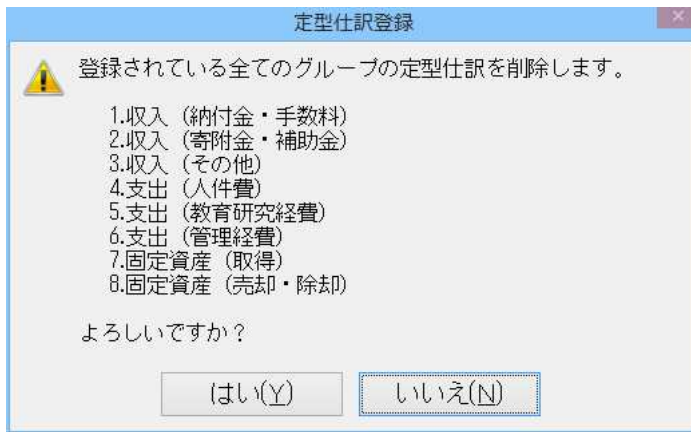
一括変更[F6] 変更する[F12] 変更しない[F8] 終了[End]

4. 「一括変更」又は伝票ごとに「変更する」「変更しない」を選択します。
  - 「一括変更 [F6] 」 該当仕訳の税率と税額を一括で変更します。
  - 「変更する [F12] 」 表示している伝票を変更し次仕訳に進みます。
  - 「変更しない [F8] 」 表示している伝票を変更しないで次仕訳に進みます。
  - 「終了 [End] 」 変更処理を終了します。

※「定型伝票」では、表示の定型伝票内の仕訳ごとに、「変更する」「変更しない」の選択はできません。

#### ②F12全削除

- ・ [F12全削除] が定型仕訳の全グループを削除する業務であることをわかりやすくするため、メッセージを変更しました。
- 10件までグループ名称で表示します。
- 11件以上グループ登録されている場合は、11件以降は「他 \*\*件の仕訳グループ」と表示します。



## 2) 元帳検索

- ・元帳検索の仕訳修正タブを開いている状態で、別業務（残高問合せ等）に切り替えた後、業務選択バーをクリックし元帳検索に戻った場合、元帳検索が非アクティブとなり、マウスクリックを行わないとキーボードが効かなくなっていたのを修正しました。

## 3) 残高問い合わせ

- ・枝番を指定している状態で元帳を閉じると、選択していた枝番とは異なる枝番が選択される場合があったのを修正しました。
- ・クラウド共有先で過年度マスターを開いている場合、当年度マスターを選択すると「財務マスターがオープンされていません！」と表示されて開けなかったのを修正しました。
- ・「比較損益」タブで挿入している空白行が表示されないように対応しました。
- ・有価証券譲渡仕訳で対価の入力を行っている場合、残高問い合わせの「日指定」で非課税 5%分が足しこまれていたのを修正しました。

## 4) 新規会社登録・修正・削除

- ・期間変更時、入力開始月が期首でない場合に、入力開始月以前の収支残高をクリアするように修正しました。
- ・過年度マスターでコード変更しようとしたときに「指定された会社コードは登録されていないため変更できません」と表示されたあと、OK で閉じてキャンセルを押すと「入力前の状態に戻しますか」のメッセージが表示され、はいで進めると、メッセージが表示されずにコード変更ができていたのを修正しました。

## II. 決算

### 1) 附属明細書

- ・「様式第一の一・二」「様式第二の一・二」の番号欄及び画面レイアウトを変更しました。

番号	計画の名称	当初決定の年月日	変更決定の年月日	備 考
01	学費止架け入れ増補計画			
	決定機関	平成28年12月31日	平成28年10月15日	決定済後の取得予定資産の変更。
	日本ICG学院委員会			
	日本ICG学院総務委員会	平成29年04月15日	平成29年05月20日	
	取得予定資産(備前)			
	情報処理科授業用パソコン	平成28～29年度	平成28～29年度	10,000,000
	印刷ソフト	平成21～28年度		3,500,000
	計			10,000,000
	組入予定額	組入額		3,500,000
	平成29年度～平成29年度	10,000,000	8,750,000	取得予定の取得予定資産に、前年度実績及び組入予定の繰上(平成28～29年度:4,000万円)を、平成21～28年度 組入額を3,500万円。
	平成21年度～平成28年度	8,000,000	2,000,000	

- \* 左上の番号欄に項目名を追加しました。
- \* 番号未入力で Enter キーを押すと、連番が自動的に振られるようにしました。番号は「01」～「99」とします。「00」は作成できません。自動付番は、登録済の間に空き番号があっても、最終番号の次の番号が振られます。番号「99」が登録済の場合、番号欄が空のまま Enter キーを押すと下記のメッセージを表示します。「番号 99 のデータが登録されています。自動付番は行えません。」

- ・マルチウィンドウにおいて画面及び操作に不備があったため、変更・修正を行いました。

番号	計画の名称	決定機関	当初決定の年月日	変更決定の年月日	備 考

- \* 各様式タブの上位タブとして【計画表】タブを設けました。  
【計画表】 - 《様式第一の一・二》 《様式第二の一・二》 《様式第二の三》

- \* マルチウィンドウ（重ねて表示）での下記操作上の不備を修正しました。

画面の右端にスクロールバーが表示されない。  
Enter キーを押してもカーソルが先へ進まない行があった。  
画面を Enter キー等で移動したとき、画面の最下部まで移動しない。  
年月日の欄で元号のコンボボックスを表示させた状態で PageUp/Down を押しても画面スクロールされない。

- \* ファンクションキーの名称  
[F9 登録一覧]から[F9 データ呼出]へ変更。ダイアログ左上名称を「登録済みデータ一覧」に変更しました。  
[F11 コード変更]から[F11 番号変更]へ変更しました。
- \* メッセージ内の文言  
画面の項目やメッセージで「コード」という表現を「番号」に変更しました。

\* [次データ (PgDown) ] ボタンの制御

業務起動直後や[Home 新規追加]を押下後など、番号が入っていない状態でも [次データ (PgDown)] が有効になっていたのを、番号欄が未入力の場合はボタンを無効に変更しました。

## 2) 決算書

・ [F6 項目登録]の表紙タブにおいて年月日をクリアした場合に、「年」「月」「日」の文字のみ表示させ、間の数字を非表示にするよう変更しました。

※予算書の修正に伴う対応です。

【例】

F6 項目登録				帳票									
平成	0	年	0	月	0	日	から	⇒	平成	年	月	日	から
令和	0	年	0	月	0	日	まで		令和	年	月	日	まで

## 3) 予算書

・ 翌年度予算額のみを一行で表示するタイプの帳票において、マスターの決算期間から+1した年度と期間を表示できるようにしました。

- ・ [F6 項目登録]の出力形式選択で [一行 (翌年予算額) ] を選択したときの項目名称 (標準名称) を「翌年度予算額」から「当年度予算額」に変更しました。
- ・ 表示期間を+1しないで出力できるように「タイトル年度、事業年度を翌年度で出力する」の選択を追加しました。
- ・ [一行 (翌年予算額) ] を選択時、初期値で「タイトル年度、事業年度を翌年度で出力する」にチェックが付いて「当年度予算額」となります。チェックを外すと「翌年度予算額」となります。

【例】

決算期間：平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日、タイトル年度 (共通タブ)：平成 31 年度 の場合

▷ 「タイトル年度、決算期間を翌年度で出力する = ON」

帳票タイトル：令和 2 年度〇〇収支予算書

決算期間：令和 2 年 4 月 1 日 から 令和 3 年 3 月 31 日 まで

金額欄のタイトル：当年度予算額

▷ 「タイトル年度、決算期間を翌年度で出力する = OFF」

帳票タイトル：平成 31 年度〇〇収支予算書

決算期間：平成 31 年 4 月 1 日 から 令和 2 年 3 月 31 日 まで





## 金額欄のタイトル：翌年度予算額

- ・[F6 項目登録]–表紙タブにおいて年月日をクリアした場合に、年月日の文字を表示させ、間の数字だけを非表示にするよう変更しました。
- ・[F6 項目登録]の表紙タブの表紙表示期間及び各ページ表示期間をクリアした状態で一列のみの翌年予算書を出力すると、年月日の表示がおかしかったのを修正しました。

## 5) 予算内訳表

- ・予算書と同じく「タイトル年度、決算期間を翌年度で出力する」の選択を追加しました。これに伴い、翌年度予算書の出カチェックボックスを共通タブから予算内訳表各タブへ移動し、項目文言も変更しました。なお、当チェックボックスは翌年度予算内訳表を出カする場合に有効となります。

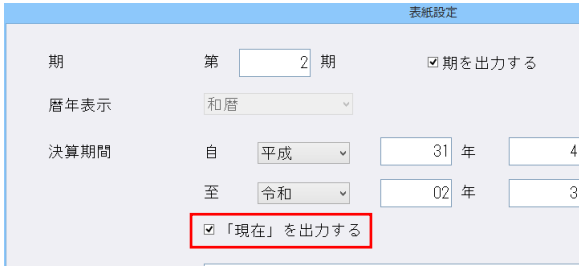
【部門別】	【法人別】
	

- ・「翌年度予算書を出カする」にチェックを付けて出カした場合、タイトル年が1年進んでいなかったのを修正しました。

## 6) 勘定科目内訳書

### ①表紙設定

- ・印刷設定 (P)内の「表紙設定 (H)」及び、F5印刷時の「表紙設定」において、“「現在」を出カする”のチェックが必ず付くようになり、またチェックを外した場合、業務終了するまでは保持されますが、再度業務を開くとチェックが付いていたのを修正しました。



## 7) 財産目録

- ・[F11 詳細入力]の「摘要を出カしない」にチェックがない場合、小計出力をする科目の欄に摘要が出力されるように対応しました。
- ・[F7 合計・明細]を[合計]にした合計科目行において、F11 詳細入力の「摘要を出カしない」にチェックが付いている状態から「当データを出カしない」にチェックを付けた場合、帳表に科目名称と金額にハイフンが出力されていたのを修正しました。  
「摘要を出カしない」にチェックが付いていない状態で「当データを出カしない」にチェックした場合は、その科目行は出力しないようになっていました。

以上